

文化がつなぐ地域の“輪”

10月20日（火）のグループ紹介展示を皮切りに11月29日（日）まで「第65回くにたち市民文化祭」が開催されました。日頃の文化・芸術活動の成果発表として各団体が熱心に取り組まれていました。その様子について、文化祭実行委員長に感想を寄せていただきました。



式典のようす

「おかえり駅舎!! 高めよう文化!!」をテーマに前日からの雨も止み、式典に相応しい天候となりました。例年はロビーに所狭しと30団体以上の方々に、お集まり頂いておりますが、今回は今までに経験し

第六十五回くにたち市民文化祭を終えて

実行委員長 前田昌子



第 731 号

2021年 1 月 5 日

(令和 3 年)

「くにたち公民館だより」
ホームページの QR コード ▶



発行

国立市公民館

〒186-0004

国立市中1-15-1

TEL 042-572-5141

FAX 042-573-0480

休館日：毎週月曜日

たことの無い新型コロナウイルス感染症の為に、8団体の参加となりました。日々参加団体が少なくなる中で、公民館館長を始め担当スタッフの方々の思いを考えますと、心が痛みましたが……参加者全員での会場設営、団体の紹介展示など、式典準備も終りに近くなりますと、これから文化祭が開催出来ると思

う喜びに変って参りました。第1部、オープニング式典は館長の司会で始まり、永見市長、是松教育長に御挨拶を頂き大きな力となりました。第2部は、例年乾杯の音頭で始まり、今回は会場の皆様の拍手で始まりました。例年は各団体1分間だけの紹介も、今回は4分間もとれ、各々発表内容を十分に伝えることが出来ました。異例すくめの事ばかりでしたが、

各団体の催し物も拝見し楽しませて頂きました。写真、絵画、書道、手工芸、フルートのコンサート、舞踊、太鼓着付け、バリの民族音楽等々、多種多様の趣味、技術をお待ちの方々に感激し、今回のテーマのように文化が益々高まって行く事でしょう。コロナ禍に負けない参加者の頑張りで大喝采です。規模も縮小された中で、盛りあがりを見せました雄気ある各団体



美術展—今年も素晴らしい作品が
そろいました—



皆様の熱意のこもった、忘れられない式典となりました。

の披露は勿論のこと、各団体相互の連携、交流を図る機会、そして新たな出逢いや更なる発展の機会となり、約1ヶ月の期間でしたが、次回に繋ぐことが出来ました事大変うれしく思っております。多くの方々の御力添えを頂き、無事に終日を迎えることが出来ました事、心より御礼申し上げます。コロナ禍が1日も早く収束し、多くの参加団体、来客者をお迎えして次回の文化祭が出来ますこと、祈るばかりです。

の披露は勿論のこと、各団体相互の連携、交流を図る機会、そして新たな出逢いや更なる発展の機会となり、約1ヶ月の期間でしたが、次回に繋ぐことが出来ました事大変うれしく思っております。多くの方々の御力添えを頂き、無事に終日を迎えることが出来ました事、心より御礼申し上げます。コロナ禍が1日も早く収束し、多くの参加団体、来客者をお迎えして次回の文化祭が出来ますこと、祈るばかりです。



演舞のようす



朗読（右上）、フルート演奏（下）

〈第17期公民館だより編集研究委員会のまとめ〉

「知る」「つたえる」「つなぐ」

「公民館だより編集研究委員会」は月1回の定例会で、公民館の担当職員も交え、公民館だよりについての感想や意見交換、「サークル訪問」欄の取材・執筆を行っています。委員は公民館運営審議会委員3名、一般市民委員5名の計8名です。「公民館だより」は単なる「お知らせ」ではなく、市民の学びを支える「読み物」です。

社会の変化により、人と地域のつながりが失われつつある今、それを結びなおす要として公民館があります。その広報紙として64年間継続しているのが「公民館だより」(以下「だより」)です。

新型コロナウイルス感染症の流行により、私たちはいきなり今までと違う新しい日常に直面しました。国の自粛要請により講座の中止だけでなく公民館も休館し、再開後も利用人数の制限など影響は大きく残ったままです。市民の学習、市民のサークル活動は不要不急のものともみなされるのでしょうか。

公民館広報の役割として、興味をそえられるキャッチコピー、読みやすい紙面づくりなどは重要なポイントですが、同時に培われてきた国立市の社会教育、人権への配慮などの原点を忘れてはいけません。そのうえで通常の活動ができないときの広報紙のあり方を改めて考える必要があります。

サークル訪問

第17期公民館だより編集研究委員会(以下編集研)は、学生2名が委員として参加し、幅広い年代で構成されたものになりました。

毎月の定例会では、自由で活発な議論が繰り広げられます。同時に委員の仕事のもう一つの大事な

柱が、最終ページに掲載されている「サークル訪問」の取材です。

■取材の喜びと難しさ

公民館を中心とした市内の公共の場で開催しているサークルは、自主的な市民の活動です。人間関係が希薄になりがちな現代社会で人と人が出会う場となっており、この広がりがある暮らし、社会を豊かにしていると言えるでしょう。編集研では委員が毎月交代でサークルを取材。定例会においてその原稿を皆で検討し、推敲します。

サークル訪問は決して一方的な紹介ではなく、市内で活動するサークルの魅力や市民の視点で取材しお伝えすることにより、地域活動への理解を深める役割を果たしています。

各委員からは「取材しなければ知らなかったサークルの人たちと知り合える喜び、新鮮な発見がある」「他の委員の書いた文章を読むのも表現などが勉強になる」「自



文章を直すのって難しい...

分の知らなかった分野の活動を知ることができ、ちょっとした異文化交流」などの感想が寄せられています。取材して自分もやってみたいと思うように魅力的なサークルが数多く、取材をきっかけに参加するようになった委員もいます。

限られた取材時間や文字数で活動内容の豊かさや熱意をどれだけ伝えられているか反省することもありますが、それだけに掲載後メンバーが増えたと報告をもらおうと嬉しさもひとしおです。

■新型コロナウイルスの影響

緊急事態宣言を受けて、4月、5月は公民館が休館になりましたが、その前から3密を避けるため多くのサークル活動が困難になりました。活動の場所の多くも閉鎖になった中で、編集研もメールでの会議となり、「サークル訪問」の取材も止まりました。こうした状況を踏まえ、自粛解除後の2020年7月号ではいつもの取材記事に代え、「活動自粛の中で」と題して、いくつかのサークルの現状を伝えましたが、これをもっと早く掲載すべきだったという反省点も出てきました。IT環境が整っていない委員もいるため、直接話し合う会議の場が持たず議論を

深めきれなかったのが遅れた原因です。電話等で取材したサークル活動も同様で、ファクスや郵便のやり取りでそれぞれ工夫はしていますが、やはり集まりたい、直接のやりとりは必要不可欠との印象を受けました。

手探りの中での数カ月、このような事態になった時に「だより」に何が出来たのか。今後状況が改善したとしても、これからも考え続けなければいけない問いが残っています。

■掲載出来なかった記事について

2019年4月号は取材した原稿について取材先に了承を得られず、残念ながら掲載できませんでした。委員長が取材先のサークルに向いて、掲載出来なかった経緯などを説明し、編集研では数カ月にわたり、サークル取材の目的手順などを改めて話し合い、確認しました。

取材者名を記載する記事なので、取材者の眼を通しての文章となりますが、取材に応じて下さるサークルのためにも言葉に責任を持たねばならず、いかに正確に市民活動の魅力を伝えるかが苦心のしどころです。他者と関わる姿勢や気持ちがあっても伝わる記事作りの大切さを改めて感じています。

編集研究委員を経験して

★編集研の皆さんと「だより」をじっくり読み語ることで、くにたち公民館が工夫して質の高い講座やイベントを企画・実施していることを改めて感じ、市民の皆さんに公民館の魅力をさらに知ってほしいと思いました。

★編集研を通じて、多くの素晴らしい出会いに恵まれたことに感謝しています。今年、突然のコロナ禍で、体館を余儀なくされた公民館…しかし、そのことで市民にとっていかに大切な学びの場、出会いの場であるかを改めて実感しました。

★全戸配布の広報紙づくりに参加できること、その仕組み自体がとても貴重で、これからも大事にすべきだと感じています。またサークル訪問先の方から、「市民権を得られた」という感想を頂いたことが印象的でした。

★編集研の仲間となり定例会やサークル訪問の取材を重ねるたびに公民館のファンになりました。各団体の代表者は“愛と信念”を持ち長きにわたりサークルの継続に努めています。公民館講座はどれも高度な専門性を持つ講師陣を迎えての開催です。多くの方が利用していただけるよう公民館の魅力発信に関わっていただけると幸いです。

★委員会やサークル訪問を通して貴重な出会いや経験が出来たことに感謝しています。コロナの影響で今まで当たり前だと思っていた活動が思うように出来なくなり、どうすれば繋がりを維持していけるのか考えさせられることがいっぱいでした。

★公民館も初めての体験を強いられた中、「だより」、サークル訪問も様々な工夫で乗り切れたように思います。今後も講座や企画の素晴らしさを市民の方に発信していけることを願います。

★毎月の委員会の集まりやサークル訪問をきっかけに、市民の方々の素敵な活動をたくさん知ることができました。国立市は活動的な方が多く、生涯学習を行える活気のある街です。公民館は地域のひととひとを好奇心で結ぶ場所だと思いました。色々な企画が行われているので、私も参加していきたいです。

★第15期公民館運営審議会会答申により「だより」を市民に親しまれるものにし、より良くするために意見を述べ、調査研究をすることを目的として作られたのが、この編集研究委員会です。役割を果たそうと集まった8名の市民と公民館職員が月に1回席を並べ、活発に意見を出し合ったこの2年間は楽しく充実したものでした。まだまだ課題山積の中、次期の編集研の活動に期待をしています。

新しい取り組み

16期のまとめでは、インターネットの活用が提言されていました。近年の「だより」では、市のホームページにアクセスするためのQRコードを複数掲載することが増えていますが、これは従来の編集研で提案してきたことが生かされた結果です。



ホームページの活用



マスク姿で議論

開催（延期、中止）状況を、ホームページでは随時更新し、読者は掲載されているQRコードでこのページにアクセスし、開催状況を確認することが出来ます。

またコロナ禍を受け、公民館の部屋の使用を申し込んだ際の会場調整会の実施体制も変更され、予約した団体（サークル）が重なった場合、掲載されたQRコードでホームページにアクセスして、確認できるようになっています。これにより今は、直接来館したり、電話をかけなくても確認ができて

開催（延期、中止）状況を、ホームページでは随時更新し、読者は掲載されているQRコードでこのページにアクセスし、開催状況を

またコロナ禍を受け、公民館の部屋の使用を申し込んだ際の会場調整会の実施体制も変更され、予約した団体（サークル）が重なった場合、掲載されたQRコードでホームページにアクセスして、確認できるようになっています。これにより今は、直接来館したり、電話をかけなくても確認ができて

います。

感染症対策が必要な今、月1回発行の「だより」だけでは時間的に間に合わず伝えきれない情報を、ホームページと連携することで補い合っています。

これからの役割と課題

「だより」には年2回程度、開催された講演の要旨が掲載され、講座に参加できなかった人への大切な情報となっていますが、それだけにとどまらず、主催した講座の記録を保管し残すという役割も果たしています。今後は例えば、映像、音声データとしての記録を蓄積していくことも考えられます。そうすれば貴重な講座がその日参加した人たちだけではなく、他の市民にも活用しやすくなることも、公民館の、国立市民の財産になつていくと思われれます。

現在、「だより」の1ページ目には必ず「くにたち公民館だよりホームページ」QRコードが掲載されています。ここでは過去の「だより」の紙面データ（平成24年6月号から最新号まで）をいつでも閲覧することが出来ますが、その閲覧数は1カ月（2020年7月）に延べ18回とわずかです。「国立市公民館ホームページ」の方は延べ2234回で、公民館を利用す

る市民が、講座の開催や会場利用の重なりを確認している様子が見えられます。今後、PDF（紙面データ）掲載だけでなく、「だより」のホームページもさらに活用されるよう望みます。

そうした記録保存が可能になれば、講演要旨はアーカイブスにまとめて掲載しておき、「だより」には講座内容の簡単な内容の要約に加え、受講者の感想や質疑応答の内容を中心に載せるという住み分けを考えるのも一つの方法です。受講者の感想、質疑応答はそのとき限りのものであり、他では得られない貴重な学びとなります。

「だより」は市民が主体的に学ぶための窓口です。これをさらに広がりを持たせ、情報を蓄積していくことが今の課題です。公民館の魅力の数々の講座の記憶を残すことは未来への大きな財産となるでしょう。その財産をどのように活用していくのがこれからの課題となるのかもしれませんが。

第17期公民館だより

編集研究委員

- 佐藤節子（委員長）、末光翔
- 高木裕子、鶴田美緒、西尾万樹
- （副委員長）、原田千智、藤澤和子、山根浩子

〈図書室のつどい〉

性格とは何か ～より良く生きるための心理学～

お 話 小塩 眞司 (早稲田大学)

「明るい性格」「外交的な性格」「ネガティブな性格」……性格には色々な表現がありますが、みなさんは自分をどんな性格と表しますか？ また、その性格を変えたいと思ったことはありますか？

心理学で言う「性格」は信頼性と妥当性を大事にしていて、ビッグ・ファイブと呼ばれる5つの性格特性（外向性、神経症傾向、開放性、協調性、勤勉性）を使った調査結果等をもとに、これまで様々な研究が行われています。年齢とともに人は優しくなる？ 地域による特性はある？ 「成功」できる性格とは？ 社会情勢の影響はある？ 心理学による様々なデータから小塩さんにお話を伺います。

「性格」について知ることで、今一度自分を見つめ、よりよく生きるヒントを見つけませんか。

〈小塩さんの本〉

表題作 (中公新書)、『性格がいい人、悪い人の科学』(日経プレミアシリーズ) ほか

と き 1月30日(土)朝10時～12時
ところ 公民館 地下ホール
定 員 40名(申込先着順)
申込先 1月8日(金)朝9時～
公民館 ☎ (572) 5 1 4 1



〈文化・芸術講座〉

「親日」って何だろう？ Vol. 2

——台湾映画に見る対日意識——

講 師 原口 直希 (一橋大学大学院生)

近年、台湾人の「親日」が様々なところで言われています。しかしそもそも「親日」とはどういうことでしょうか？

この講座では、台湾映画史上最大のヒット作であると同時に、「親日」映画と言われ多くの議論を巻き起こしてきた魏徳聖監督の映画『海角七号』(2008)を題材に、台湾の歴史や文化を参照しつつ、それが台湾人の眼にどう映り得るのか、ひいては台湾における「親日」とはどういうものなのかを考えていきます。特に今回は、昨秋の院生講座で挙げられた意見・質問に対する応答や、同じく「親日」映画と言われた侯孝賢監督の『悲情城市』(1989)との比較を盛り込み、さらに映画の映像面だけでなく音響面にも注目していきます。

複雑な背景を持つ台湾と台湾人について、この機会と一緒に学びましょう。(※映画上映会ではありません※)

と き 1月23日(土)昼2時～4時
ところ・定員 公民館 3階講座室 15名
集会室(オンライン)10名(申込先着順)
申込先 1月8日(金)朝9時～ 公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

※2020年秋に開催した院生講座の続篇ですが、初参加の方も大歓迎です。もし時間があれば、事前に台湾や『海角七号』に関して軽く調べてきてくださると、より理解が深まると思います。

くにたち野鳥観察

講 師 佐伯 元行(国立あおいとり保育園 園長)
中島 徹也(くにたち野鳥観察会)

冬は木々の葉が落ちて見通しがよく、越冬のため日本に冬鳥が渡り、野鳥観察には最適の季節です。くにたちの野鳥と一緒に観察してみませんか。

1回目は写真やデータ等による講義で、2回目と3回目は実際に野外で観察します。ぜひ、3回続けてご参加ください。(1回だけの参加も可能です)



◀多摩川周辺での観察の様子

▶城山周辺での観察の様子



- ◆第1回 1月17日(日)朝10時～12時頃
郷土文化館(講義)
 - ◆第2回 1月31日(日)朝9時30分～12時頃
城山周辺(観察会)
 - ◆第3回 2月14日(日)朝9時30分～12時頃
多摩川周辺(観察会)
- 集合場所 第1回、第2回 郷土文化館
第3回 南区公会堂前

持ち物 筆記用具、双眼鏡等

定 員 各回15名(申込先着順)

※観察会が荒天の場合は2月21日(日)に順延します。

申込先 1月7日(木)朝9時～
公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

〈くにたちブッククラブ 空間を超えて世界と向きあう文学〉

小野正嗣『九年前の祈り』

(講談社文庫)

講師 大野 亮司 (亜細亜大学・日本近代文学)

とき 1月7日(木)夜7時半～9時半

ところ 公民館 地下ホール

定員 30名(今年度すでに申込済の方は申込不要です。)

申込先 公民館☎(572)5141

*この講座はあらかじめ作品を読んできて、参加者が「読み」を出しあいます。そのあと講師のお話を聞きます。

〈ドキュメンタリー映画〉

『天に栄える村』

企画・製作：桜映画社 撮影協力：天栄米栽培研究会
2013年 カラー 106分

監督・編集 原村政樹、語り 余貴美子

*厚生労働省社会保障審議会推薦・児童福祉文化財

*キネマ旬報ベスト・テン文化記録映画5位



福島第一原発から70km離れた福島県天栄村。人口6,000人ほどの小さな村では、日本一おいしい米作りをめざし努力を重ね、米のおいしさを競うコンクールで連続して金賞を受賞するといった実績もあった。

しかし、2011年3月の原発事故で田畑は汚染されてしまった……。それでも科学的な調査をもとに出来ることは何でもやろうと、苦闘する農家の人々の姿を追った。

〈お話〉 「安全で世界一おいしい米を作る」

吉成邦市(天栄米栽培研究会)

*講師はオンラインで講演を行います。

上映後、本映画に出演する吉成さんに、震災後どのように米作りに向き合ってきたのかお話しを伺います。

とき 2月21日(日)昼2時～夕5時(開場昼1時)

ところ 公民館 地下ホール

定員 35名(申込先着順)

申込先 1月20日(水)朝9時～

公民館☎(572)5141

講座に参加される皆様へ

現在、公民館では、新型コロナウイルス感染対策として、すべての講座において人数の規模を縮小し、事前申込み制で実施しています。講座にご参加の際は、皆様が安心して学習ができますよう以下の点にご協力ください。

- ・自宅で検温してからお越しください。
- ・発熱や体調の悪い方は、参加をご遠慮ください。
- ・マスクを着用してください。

シネボックス CINEVOX 公民館映画会

『小さな恋のメロディ』

Melody

1971年 イギリス カラー106分 ※DVD版

監督 ワリス・フセイン 製作 デヴィッド・バットナム

脚本 アラン・パーカー 音楽 ビージーズ

出演 マーク・レスター、トレイシー・ハイド、ジャック・ワイルド ほか

「ぼくたち結婚します！だって愛し合っているんだもの」11歳のダニエルとメロディが両親や教師たち大人に対してそう宣言したことからの巻き起こる大騒動！思春期の少年少女の初々しく純粋な恋愛模様を爽やかなタッチで描き出した青春映画の名作。ビージーズが歌う主題歌「メロディ・フェア」は今なお歌い継がれる不朽の名曲だ。



とき 1月24日(日)昼2時～(開場昼1時)

ところ 公民館 地下ホール

定員 35名(申込先着順)

申込先 1月14日(木)朝9時～

公民館☎(572)5141

*事前申し込み制となっています。必ず電話もしくは窓口にて事前にお申し込み下さい。

どちらの講座も新型コロナウイルス感染予防として、途中で10分程、換気のため休憩を設けます。ご了承下さい。

親子で遊ぼう・考えよう

科学実験遊び

— 手回し発電機などで遊ぼう —

子ども向け手回し発電機や偏光板、手作りモーターなど身近な素材で安心簡単に遊びます。親子で遊びながら、工夫したり発見したりして楽しめます。

講師 山田 修平

(NPO法人東京学芸大こども未来研究所)

とき 1月31日(日)朝10時～12時

ところ 公民館 地下ホール

持ち物 ハンドタオル、飲み物

対象・定員 子ども(4歳以上～小学生低学年)と保護者6組(申込先着順)

*1組につき2名(子どもと保護者1名ずつ)の参加になります。密集状態を避けるため、参加しない方の見学はできません。

申込先 1月7日(木)朝9時～ 公民館☎(572)5141

*この講座は、さまざまな遊びをとおして子どもとふれあい、他の親子や異年齢の子どもたちとの交流を通して、大人として、保護者としてすべきことは何かを感じ取り、考えていく機会となるよう実施しています。

しょうがいしゃ青年教室&喫茶わいがや

ボランティア随時募集中

「しょうがいしゃ青年教室」は、しょうがいのある・なしを超えて、若者たちが一緒に楽しみ合い・学び合うことを目指した活動です。

ボランティアのスタッフは、活動の企画・運営をスタッフ同士・職員と一緒に協力しながら行います。ボランティアの経験がなくても、月1回からの参加でも大丈夫！公民館で、あなたの世界を広げてみませんか？

ぜひお気軽にご連絡ください。

《ボランティア募集中のコース》

スポーツ、クラフト、料理、

YYW(1人でやらないことをみんなで考え実行する講座)

喫茶(喫茶わいがやで喫茶活動)



◀クリスマス会など全体のイベントもあります！



ところ 公民館内 喫茶わいがや、青年室ほか

対象 高校生～30代くらいまで

問合せ・申込先 公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

✉ sec_kominkan@city.kunitachi.lg.jp

中高生のための学習支援「LABO☆くにスタ」

勉強がしたい中・高生 随時募集中!!

「勉強のわからないところを聞きたい!」「1人で勉強するより誰かと一緒にやりたい!」「大学生と色々な話をしてみたい!」……そんなみんなのためにある場所が『LABO☆くにスタ』です。

学校でも、塾でもない、みんなの「?」を「わかった!」「楽しい!」に。大学生が個別に中高生をサポートします。まずはお気軽にお問合せください。

みんなの参加
待ってます!!



開催日 水曜日 夕方6時～8時(月3回程度)

ところ 公民館 地下ホール

対象 市内在住、在学の中高生

費用 無料

問合せ・申込先 公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

第57回東京都公民館研究大会

コロナ時代に向き合う公民館

～新しい生活様式と公民館～

東京都公民館連絡協議会(以下、都公連)主催の研究大会が開催されます。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、動画配信と事例報告等のホームページへの掲載のみになりました。

新型コロナウイルスの流行により、社会情勢や公民館を取り巻く環境が大きく変化していく中で、公民館が地域にとって「なくてはならない存在」であり続けるには、新たな公民館の在り方を考える必要があります。正解がない社会教育だからこそできる、地域に寄り添い、その地域のポテンシャルを引き出すような「問いをつくる学び」を、いかに提供できるかが問われています。

今大会は、公民館が地域とともにどのような未来をつくり、どのような想いをつなぐべきかを考えながら、新たな取り組みへの挑戦を決意する機会にしたいと思います。

参加方法 都公連ホームページに掲載された、基調講演の動画、ならびに、主催者及び来賓者の挨拶文、課題別集会の事例報告及び助言者のコメントを、各自でご覧ください。どなたでもご覧いただけます。

※動画視聴に伴う通信料については、視聴される方のご負担になります。

■基調講演 長澤 成次さん

(放送大学千葉学習センター所長、千葉大学名誉教授、第33期国立市公民館運営審議会委員)

■4つの課題別集会

- ① コロナ時代の公民館×SDGs
～「誰も取り残さない」社会教育とは～
- ② 人と人との新たなつながり、離れてつながる、静かにつながる公民館貫井北分館
- ③ コロナ禍におけるオンラインを用いた公民館の学びの可能性について
～オンラインを活用した講座運営や動画配信の模索～
- ④ 緊急事態宣言後の公民館のあり方
～公民館の基本活動の本質を求めて～

アクセス

<https://tokyokouminkan.wixsite.com/tokoren>
QRコードからも、都公連のホームページにアクセスできます。

掲載期間 2021年2月10日～2022年1月31日



ひろば



大学通りの街灯

撮影 久保 百合子さん(富士見台)

3B健康体操会員募集

「元気でいる為に体力を付けましょう!」いつもでも歩ける身体でいるために!音楽に合わせて楽しく体を動かしています。体験もOK!気軽に参加して下さい。
 日時 月曜日4回 朝9時45分
 場所 東福祉館 集会室
 連絡先 石原070(5435)0404

くにたち国際友好会WING

1月の国際理解講座はウクライナについて一橋大学院生のドブニコア・ヤンナさんとお話して頂きます。今回はオンラインで行いますので事前申し込みして下さい。
 日時 1月16日(土) 夕5時~7時
 場所 ZOOMで行います
 連絡先 和田090(3497)2110

「ひろば」写真募集中

国立の風景や行事、自然などの写真を募集しています。ご協力いただける方は公民館までご連絡ください。

「禁じられた遊び」を弾こう

初級向きの実習講座で、「くにたちギタークラシカ」が主催します。講師は3名のギターリストに師事した会員です。3~5月で全6回です。先着3名まで。無料。
 日時 第1・3木曜 朝11~12時
 場所 西福祉館など
 連絡先 こみや090(4027)6974

公民館図書室

休室のおしらせ

2月2日(火)から4日(木)まで本の点検・整理のため休室します。
 *新聞は、朝9時~夕方5時の間、2階事務室前で閲覧できます。



「ひろば」欄投稿規定

市内の団体・グループ活動のお知らせの場です。
 原稿の締切りは、掲載希望月の前月7日の午後5時です(7日が月曜日の場合は、翌日の8日まで)。原則として掲載月の7日から翌月6日までのお知らせを掲載します。
 公民館備付けの原稿用紙に団体名・サークル名を含めてお書きください。氏名には振りがなをふってください。
 会員募集は6カ月に一回掲載することができますが、紙面の都合により翌月掲載となることがありますので、ご了承ください。

「公民館の窓」シルバー学習室



「シルバー学習室」は、1年を通して様々なことを学びながら、仲間との交流を深める講座です。私は今年度から公民館で働き始めました。新型コロナウイルス感染症拡大により、色々な講座の開始が延期になるなか、シルバー学習室は私にとって初めて担当する講座でした。第一回の懇談会で、学習室の皆さんと初めて顔を合わせたとき、とても緊張したけれど、同じくらいわくわくしたことを覚えていています。

シルバー学習室を担当していると、皆さんの生き生きとした姿をたくさん見ることが出来ます。学習室では、水彩画やリトミックなど、人によってはどうしても「不得意だなあ」と感じてしまう講座もあります。ですが、皆さん「あらやだ」「こんなので良いのかしら」なんて呟きながらも、目はきらきら、お顔はにこにこ(マスクで半分見えませんが)、とても楽しそうです。
 私は昔から、人の心が生きていく様子を感じられる瞬間が好きです。だから私は、職員という立場ではありませんが、皆さんのそのような姿を見ることが出来るシルバー学習室を毎週ものすごく楽しみにしています。(A・H)

公民館運営審議会報告


12月8日(火) 第33期第2回定例会を開催。委員15名、館長、職員2名出席。傍聴人7名。
 議事に先立ち、新委員の自己紹介及び公民館運営審議会報告について館長より説明。
前回議事録確認
 効率化を図るため、メールにて修正箇所を事前申請する提案が館長からあった。
協議事項
 ○正副委員長選出
 委員長には、末光翔氏、副委員長には、江頭晃子氏が選出された。副委員長を複数にするという意見も出たが、次回以降検討。
 ○社会教育学習会担当の委員選出

高野宏氏、野口泰寛氏、幸島裕子氏が選出された。
委員研修
 長澤成次委員(放送大学千葉学習センター所長)による講演。テーマは「公民館運営審議会の歴史と課題」。
報告事項
 ○公民館だより編集研究委員会11月号及び12月号作成に当たっての活動報告。
 ○社会教育委員の会「適切な事業評価方法の検討」についての検討。
 ○東京都公民館連絡協議会11月25日の協議会の報告。
 ○その他
 事務局より事務連絡。
 次回定例会は1月12日(火)夜7時15分から。傍聴歓迎。(田中)

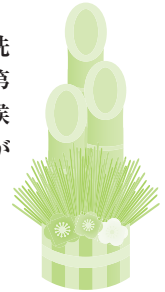
今月の公民館 (1月~2月中旬)

- 5日(火)夜~ 日本語教育入門
 - 7日(木)夜 くにたちブッククラブ
小野正嗣『九年前の祈り』
 - 8日(金)夜 青年講座
「ボランティアってなんだっけ?」
 - 10日(日)昼 図書室のつどい
「面白くて眠れなくなる恐竜」
 - 16日(土)昼~ 哲学講座
 - 17日(日)朝~ くにたち野鳥観察
 - 17日(日)朝 老いとケア講座
「ヤングケアラー~介護を担う子どもたち~」
 - 23日(土)昼 文化・芸術講座
「“親日”って何だろう? Vol. 2」
 - 24日(日)朝~ ★人権講座
「どうして私たちは見た目で判断してしまうのか」
 - 24日(日)昼 CINEVOX 『小さな恋のメロディ』
シネボックス
 - 28日(木)夜 ★図書室のつどい 「一学ぶことは
生きること一院内学級から考える、子どもの学び」
 - 30日(土)昼 図書室のつどい 「性格とは何か」
 - 31日(日)朝 親子で遊ぼう・考えよう
「科学実験遊び~手回し発電機などで遊ぼう~」
 - 2月21日(日)昼 ドキュメンタリー映画上映会
「天に栄える村」一安全で世界一おいしい米を作る一
- ★はオンライン受講可能の講座です。

ー3月(ロビー)4月分 会場調整会のお知らせー

申込書のポスト投入期間	1月9日(土)~28日(木)
公用使用の貼り出し	1月12日(火)頃
予約の重なりがあった 団体の掲示開始日	1月30日(土) ▶重なり状況 
会場調整会	2月6日(土)朝10時~

- ・予約の重なりのある、なしに関わらず、電話による連絡はいたしません。(ご不明な点は、公民館へお問い合わせください。)
- ・会場調整会へは、1団体1名の方が、手洗い・マスク着用等の感染症対策のうえ、第1希望の会場がとれなかった場合の別の候補日も想定して、活動日を決定できる方がご参加ください。



会場調整会は朝10時までに
受付を済ませて下さい。

公民館 ☎ (572) 5141

今後の動向により、開催の延期や中止など変更があった場合は、公民館入り口付近への掲示や、ホームページでお知らせいたします。
ご不明の点はお問い合わせください。



公民館の状況▲

公民館 ☎ (572) 5141

〈サークル訪問351〉 くにたち国際友好会 WING

地域市民と留学生との友好を深める活動をしているボランティアサークル。「異文化コミュニケーション」「国際交流イベント」を主としています。

交流イベントでは、国立の子ども達に国際交流の体験を目的に、ポーランド大使館を訪問し、友好の歴史などを学びました。「国立ピクニック」では子ども達と留学生が谷保天満宮と滝乃川学園を散策や学びで楽しくすごしたそうです。今年も残念ながら実施できませんでした。

異文化コミュニケーションとは毎月様々な国の留学生の方に母国の実情、日本との違い、専攻学問などのお話を聞く、国際理解講座です。

訪問したのは11月の講座、6月から対面とリモートでの開催をスタートしました。今回はアメリカ留学経験のある西良朋也さん(一橋大学院生)がスピーカー(講師)です。参加者13名、リモート参加が17名で始まりました。タイムリにアメリカ大統領選、社会正義コディネーターの立場からアメリカの保守とリベラル層の二極化、ジェンダー問題、キリスト教の宗派の違い等、興味深い講義をお聞

きし、時間が足りないほどでした。留学生2人、1人は1月のスピーカー予定のウクライナの方、もう1人は以前のスピーカー経験者のインドネシアの方が参加しました。その後も交流やイベントに参加し、「他国の方ともお話ができ、大変勉強になり、とても楽しいです」との感想も頂きました。

毎月の国際理解講座のパンフレットは公民館入口に置いてあります。1月はウクライナ、その後キルギス、トルコ、バン格拉ディシュと予定満載です。ぜひ参加してみたいかがでしょうか!

「小さな草の根の活動が世界の平和に繋がると確信しています」と和田代表の言葉です。会員大募集中。

日時: 基本第3木曜日 夜7時~9時(ただし変更もあり)

場所: 公民館

連絡先 和田090(349)2110

〈文・写真 藤澤和子〉



毎月イベントが盛りだくさん

